

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成29年度～令和3年度
交付対象	川口市	事後評価の実施時期	令和5年7月

1. 事業効果の発現状況及び目標値の達成状況			
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青木地区ほか5地区における13箇所の生活道路において、ゾーン30等の速度抑制対策を行ったことで、歩行者が優先される安心・安全な道路通行空間が確保された。 ・幹線第25号線（市役所前通り）において、中央道路からオートレース通りまでの区間（第1工区）の電線共同溝整備を行うことにより、防災性向上、安全・円滑な通行空間の確保を推進することができた。 ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、芝川橋については、架替えに伴う設計業務を行ったが、支障物件の移設協議に時間を要している。また、網代橋については、市の財源確保の難航により工事規模を縮小したため、事業進捗が図れなかった。 		
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H29年度当初)	最終目標値 (R3年度末)
	1-1 安全に通行できる箇所の割合（%） （安全通行確保箇所数） / （改善必要箇所数）	0%	100%
	目標値と実績値 に差が出た要因	関係機関との調整による事業期間の延伸や市の財源確保の難航による事業縮小が発生したため目標値を達成することができなかった。	
2. 特記事項（今後の方針等）			
交通安全施設整備事業（自転車通行空間）については、令和4年度以降も目標達成に向け事業を計画的に進めるとともに、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。電線地中化事業については、個別補助制度である無電柱化推進計画事業補助に移行し、橋りょう関連事業については、道路メンテナンス事業補助に移行し、当該事業を継続していく。			

上記指標に関連する事業

事業名	番 号 : A01-023	事 業 名 :	交通安全施設整備事業（ゾーン30・自転車通行空間）
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 区画線設置 65.7km	事業実施期間 :	H29～R3 全体事業費 : 61 百万円
事業名	番 号 : A01-012	事 業 名 :	市道幹線第25号線 電線地中化
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 電線共同溝 0.8km	事業実施期間 :	H29～R3 全体事業費 : 241 百万円
事業名	番 号 : A01-028	事 業 名 :	市道幹線第23号線（芝川橋）
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 橋梁改修 1橋	事業実施期間 :	R2～R3 全体事業費 : 42 百万円
事業名	番 号 : A01-030	事 業 名 :	市道幹線第88号線（網代橋）
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 耐震補強工事 1橋	事業実施期間 :	R3 全体事業費 : 36 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成29年度～令和3年度
交付対象	川口市	事後評価の実施時期	令和5年7月

1. 事業効果の発現状況及び目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幹線道路において劣化した舗装を良好な状態に維持するために舗装修繕を行った結果、幹線道路の路面評価を望ましい管理水準に維持する割合が増加し、安全・安心な道路網の確保が図れている。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H29年度当初)	最終目標値 (R3年度末)	最終実績値
	1-2 幹線道路における舗装の維持管理指数（MCI）5.1以上の割合（%） （維持管理指数MCI5.1以上の道路延長） / （幹線道路延長）	73%	76%	80%
	目標値と実績値 に差が出た要因	社会資本整備総合交付金事業とは別に、市単独費での舗装修繕や占用工事での補修修繕が行なわれたことが、実績値が目標値を上回った要因に挙げられる。		
2. 特記事項（今後の方針等）				
令和4年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続し、幹線道路の路面評価を望ましい管理水準に維持する割合を増加させる。				

上記指標に関連する事業

事業名	番 号 : A01-004	事 業 名 : 南浦和・越谷線ほか舗装修繕事業	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 舗装修繕4.7km	事業実施期間 : H29～R3	全体事業費 : 149 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :	全体事業費 : 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成29年度～令和3年度
交付対象	川口市	事後評価の実施時期	令和5年7月

1. 事業効果の発現状況及び目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収の伴う暫定的な歩道拡幅整備を行った箇所については、歩行者等の安全性の向上が図られた。 ・戸塚第165号線については、橋りょうの拡幅工事が完了したことにより歩行者等の通行空間が確保され、事業効果が得られた。 			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H29年度当初)	最終目標値 (R3年度末)	最終実績値
	2-1 通学路の歩道整備が必要な路線の計画延長に対し、実施した延長の割合（%） （実施済み延長） / （歩道整備が必要な路線の計画延長）	26%	100%	57%
	目標値と実績値 に差が出た要因	幹線第40号線については、一部地権者の用地取得が難航したため目標値を達成することができなかった。		
2. 特記事項（今後の方針等）				
幹線第40号線については、令和4年度以降も目標達成に向け事業を計画的に進めるとともに、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	番 号 : A01-011	事 業 名 :	市道幹線第40号線	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 歩道整備 0.33km	事業実施期間 :	H29～R3	全体事業費 : 60 百万円
事業名	番 号 : A01-024	事 業 名 :	市道戸塚第165号線	
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 : 歩道整備 0.05km	事業実施期間 :	H29～H31	全体事業費 : 82 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :		
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :		全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :		
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :		全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :		
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :		全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :		
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :		全体事業費 : 百万円
事業名	番 号 :	事 業 名 :		
事業内容・事業実施期間・全体事業費	事業内容 :	事業実施期間 :		全体事業費 : 百万円